

文化博物館だより No.86

みなさん、こんにちは。

夏の甲子園も終了し、いよいよ夏休みもあと10日ほど。日中はまだまだ暑いのですが、クマゼミの大合唱からツクツクボウシの鳴き声が聞こえるようになり、ほんの少しだけ涼しくなってきたようです。

1. デジタル紙芝居と人形劇

8月20日(土)、13:30と15:00から“ひとはくフロアスタッフ”によるデジタル紙芝居「ぶくぶくあわわ」と“文博スタッフ”による人形劇「はらべこあおむし」を上演しました。250名近くの観客に出演者もびっくり。子どもたちと一緒に楽しいひと時を過ごしました。



ブクブクとアワワはコバントビケラという小さな水生昆虫です。幼虫は水底の落ち葉を2枚使って巣を作ります。その後、5月から10月にかけて、羽化し、成虫となって飛び立ちます。



エリック・カールの「はらべこあおむし」は子どもたちにも大人にも大人気。小さなあおむしと次々に登場する食べ物に大興奮でした。

2. 「夜の博物館探検隊」わくわく、どきどき、ひやぁー！

8月13日(土)、17:30より昨年に続き、「第2回 夜の博物館探検隊」を実施しました。11組34名が会議室に集合し、ひやぁーとする「こわーい話」を聞いた後、くじ引き順で博物館内の探検にスタートしました。常設展示室、ロビー、特別展示室、地下の収蔵庫も見学しながらクイズに挑戦していました。「広いねー」「天井もすごく高いんだね」と参加者の声。真っ暗な倉庫では、お母さんの手をしっかりと握り締めた子どもたちが、懐中電灯で照らされた先をじっと見つめ、「何かいそう。こわーい」と、わくわく、どきどきの探検になりました。



Q:扉の厚さは?(特別収蔵庫前室で)

Q:天井までの高さは?(地下通路で)

3. 古代にタイムトリップ! 勾玉作り

毎年実施している夏休みワークショップ(ふるさと文化いきいき教室)で、「勾玉作り」を3回実施しました。参加者は手を真っ白にしながら、高麗石(滑石)をすり石の上でガリガリ、ガリガリ削りながら、思い思いの形に仕上げていきました。



力を入れてガリガリ

仕上げは耐水ペーパーで

4. 原人になってみよう! 石器づくりと火おこし体験

8月27日(土)13:30からは、石器づくりと火おこし体験があります。サヌカイトを割って矢じりを作ってみませんか? 「舞きり」を使った火おこし体験もできますよ。

申し込みは同館まで (078)918-5400

5. 昆虫パンも売ってます!

昨年度の“ひこうきパン”に続き、今年の昆虫展では“昆虫パン”が登場しました。明石市本町のグロッケントルムさんに特別につくっていただきました。カブトムシパンとクワガタパンの2種類ですが、飛ぶような売れ行きです。形もかわいく、味もおいしいですよ。



一つ200円

明石市立文化博物館

編集:永田浩史